

# 2023年県議会議員選挙立候補予定者「石木ダムアンケート」

石木川の清流とホタルを守る市民の会ほか6市民団体

**Q. ダム予定地に13世帯50余名が暮らし続けていることを知っている？**

堤 典子	千住 良治
石川 悟	瀬川 光之
深堀 浩	近藤 智昭
初手 安幸	鵜瀬 和博
坂本 浩	前田 哲也
本田 みえ	古川 洋介
堀江ひとみ	本多 泰邦
大倉 聡	野口 将司

**全員**

**「知っている」**

# 2023年県議会議員選挙立候補予定者「石木ダムアンケート」

石木川の清流とホタルを守る市民の会ほか6市民団体

## Q. 佐世保市の水道使用量実績の減少傾向を知っている？（○はコメントあり/別紙参照）

堤 典子	知っている	千住 良治	知っている○
石川 悟	知っている○	瀬川 光之	知っている○
深堀 浩	知っている	近藤 智昭	知っている○
初手 安幸	回答できない	鵜瀬 和博	知っている○
坂本 浩	知っている○	前田 哲也	知っている○
本田 みえ	知っている○	古川 洋介	知っている
堀江ひとみ	知っている○	本多 泰邦	○
大倉 聡	知っている○	野口 将司	知っている

# 2023年県議会議員選挙立候補予定者「石木ダムアンケート」

石木川の清流とホテルを守る市民の会ほか6市民団体

## Q. 佐世保市の水道使用量実績の減少傾向を どう思う？（コメントありの方のみ）

石川 悟	（佐世保市の使用量の増加傾向について）このデータは科学的根拠がまったくなく、実態とも大きくかけ離れている。石木ダムを造らんがために、データを無理矢理合わせているとしか思われぬ。国土交通省は、今後50年間に水需要は4割も減少すると予測している。
坂本 浩	急激な人口増加は見込めず、節水効果も進んでいることから、増加に転ずることはないと考えます。
本田 みえ	全くでたらめだと思います。
堀江ひとみ	人口減少、新たな水源確保、節水機器の普及など佐世保市民の努力によって、1994年以降断水は起きていません。佐世保市の水需要予測は、工業用水が3.5倍になるなど、現実とかけ離れたもので、県議会でも根拠を提示することができませんでした。水不足を言うなら、むしろ、水道管の老朽化による漏水対策を優先すべきです。
大倉 聡	佐世保市が示す水需要予測に関しては、人口減少社会の今、市民への需要という観点では若干無理があると思います。ただ、ハウステンボスなどの水が大量に必要な観光施設があるという側面も忘れてはいけない観点だと思います。また今後、工場などを誘致する場合には水が絶対的に必要という観点も重要だと思います。一方で、水道管の老朽化を修繕し漏水対策することこそが有効という指摘もあります。水需要に関しては是々非々の議論が大切だと思います。
千住 良治	しかるべき根拠に基づいて予測してあるものと認識している
瀬川 光之	佐世保市の利水計画は、関係法令・基準に基づき、適正に算定されていると認識している
近藤 智昭	佐世保市の利水計画は、関係法令・基準に基づき、適正に算定されていると認識している。
鵜瀬 和博	佐世保市の利水計画は、関係法令・基準に基づき適正に算定されていると認識しています。
前田 哲也	佐世保市の利水計画は、関係法令・基準に基づき算定されていると認識している。
本多 泰邦	佐世保市は今年も水不足で給水制限が出ています。

# 2023年県議会議員選挙立候補予定者「石木ダムアンケート」

石木川の清流とホタルを守る市民の会ほか6市民団体

**Q. 川棚川は2021年8月中旬の豪雨で被害がなかったことを知っている？（○はコメントあり）**

堤典子	知っている	千住良治	知っている○
石川悟	知っている○	瀬川光之	知っている○
深堀浩	知っている	近藤智昭	知っている○
初手安幸	知らない	鵜瀬和博	知っている○
坂本浩	知っている○	前田哲也	知っている○
本田みえ	知っている○	古川洋介	知っている
堀江ひとみ	知っている○	本多泰邦	知らない○
大倉聡	知っている○	野口将司	知っている

# 2023年県議会議員選挙立候補予定者「石木ダムアンケート」

石木川の清流とホテルを守る市民の会ほか6市民団体

## Q. 川棚川は2021年8月中旬の豪雨で被害がなかったことをどう思う？（コメントありの方のみ）

石川 悟	2014年、中村前知事は地権者との話し合いの中、「川棚川の改修工事が完成すれば、過去の洪水は石木ダムなしで流せる」と言ったが、そのことが実証されたと思う
坂本 浩	石木ダム建設事業の見直しの必要性が明確になったと考えます。
本田 みえ	それでもダムが必要と言いきる県は、誰の為にダムが必要といっているのか、大いに疑問がある。
堀江ひとみ	そもそも川棚川の洪水対策において石木ダムで対応できるのは全流域の10%しかありません。ダムなしでも河川改修で対応可能なことは中村前知事が地権者への説明で言明しています。県の想定は、100年に一度あるかないかのありえない設定で、当初のダム計画になかった治水目的を言い張るためとしか言いようがありません。
大倉 聡	石木ダムは「利水・治水のために必要」とされている公共事業です。今回の事例は洪水対策として、ダムの必要性に疑問符がついたと言われても仕方がないと思います。ただ、未曾有の災害がいつどこで起きてもおかしくない昨今の異常気象を鑑みれば、石木ダムにどこまでの治水機能が果たせるのか県はさらに検証し、県民に示した上で、議論を深める必要があると感じます。
千住 良治	昨今の地球温暖化等による災害の激甚化を考えると、これまで以上の雨量がふってもおかしくない。また24H雨量だけでなく短時間の雨量での洪水被害も予測される。2021年8月だけのことで、どうこういってないで考える。
瀬川 光之	令和3年8月の大雨について、24時間雨量は計画雨量を超過したものの、3時間雨量は122mmと計画雨量の約60%であり、河川の氾濫を引き起こすような降り方でなかったと推測され、結果として河川の氾濫は生じなかったものと聞いている。
近藤 智昭	令和3年8月の大雨について、24時間雨量は計画雨量を超過したものの、3時間雨量は122mmと計画雨量の約60%であり、河川の氾濫を引き起こすような降り方でなかったと推測され、結果として河川の氾濫は生じなかったものと聞いている。
鵜瀬 和博	令和3年の大雨について（8月）、24時間雨量は計画雨量を超過したものの、3時間雨量は122mmと計画雨量の約60%であり、河川の氾濫を引き起こすような降り方でなかったと推測され、結果として河川の氾濫は生じなかったものと聞いている。
前田 哲也	豪雨はその時々で状況で洪水被害が違ってくるので、一概に過去の結果をみて被害の心配がないとは言えないと考えている。
本多 泰邦	過去の雨量が適当ではないのでは。線状降水帯等で被害地域が拡大しています。

# 2023年県議会議員選挙立候補予定者「石木ダムアンケート」

石木川の清流とホタルを守る市民の会ほか6市民団体

## Q. 日本弁護士連合会の「石木ダム中止を求め る意見書」を知っている？（○はコメントあり）

堤 典子	知っている	千住 良治	知らない
石川 悟	知っている○	瀬川 光之	知らない
深堀 浩	知っている	近藤 智昭	知らない
初手 安幸	知らない	鵜瀬 和博	知らない
坂本 浩	知らない	前田 哲也	知らない
本田 みえ	知っている○	古川 洋介	知っている
堀江ひとみ	知っている○	本多 泰邦	知らない○
大倉 聡	知らない	野口 将司	知っている

# 2023年県議会議員選挙立候補予定者「石木ダムアンケート」

石木川の清流とホタルを守る市民の会ほか6市民団体

## Q. 日本弁護士連合会の「石木ダム中止を求める意見書」を知っている？（コメントありの方のみ）

石川 悟	「意見書」の通りだと思う。
本田 みえ	ダムを造る理由が理路整然と言葉を尽くしても、理屈でないから全くかみ合わない。
堀江ひとみ	長年、公共事業や治水対策のあり方を調査研究してきた日弁連の当該意見書は、石木ダムの事業計画の推移、必要性、環境影響などについて詳細に研究し、丁寧に論証した意見書であり、反論の余地のないものと思います。全面的に同意します。
本多 泰邦	長崎県と佐世保市の実状に添っているのでしょうか。地域住民の意見を良く聴くべきでは。

# 2023年県議会議員選挙立候補予定者「石木ダムアンケート」

石木川の清流とホタルを守る市民の会ほか6市民団体

## Q. 2017年の調査で県民の8割がダム計画の説明が不十分と回答…知っている？

堤 典子	知っている	千住 良治	知らない
石川 悟	知っている	瀬川 光之	知らない
深堀 浩	知っている	近藤 智昭	知らない
初手 安幸	知らない	鵜瀬 和博	知らない
坂本 浩	知っている	前田 哲也	知らない
本田 みえ	知っている	古川 洋介	知っている
堀江ひとみ	知っている	本多 泰邦	知らない
大倉 聡	知っている	野口 将司	知っている



# 2023年県議会議員選挙立候補予定者「石木ダムアンケート」

石木川の清流とホテルを守る市民の会ほか6市民団体

## Q. 2017年の調査で県民の8割がダム計画の説明が不十分と回答…どう思う？ (コメントあり)

石川 悟	このデータは、今もほとんど同じだと思われる。2022年、日本共産党が佐世保市民を対象にしたアンケートでは、ダム必要・工事推進は15%、必要でないので中止30%、行政代執行は行わないで欲しい15%、県は地権者と話し合いをすべきだ21%だった
坂本 浩	報道機関などの各種世論調査でも、賛成の方は少ないと思います。
本田 みえ	ダムを造りたい理由が、住民の意思でも住民の為でもない、住民が納得するような説明は出来ず、する気もないと思います
堀江ひとみ	2017年に、パタゴニア日本支社がリサーチ会社を利用して県民2500人を対象に行った調査では、「わからない」が半数で「賛成」は2割、「説明は十分とした人」も2割でした。50年前から石木ダム問題は周知のことで、莫大な県費を要する事業なのに、「なぜ必要なのか」が多くの人に理解されていない（根拠が薄い）ことを示していると思います。
大倉 聡	反対が賛成を上回ってはいますが、肝要なのは石木ダム問題にあまり関心がない県民が多いということではないでしょうか。県は賛成意見だけではなく、反対意見も合わせて、それぞれの意見をもっと積極的に県民に広く周知する努力が必要だと思います。
千住 良治	県の様々な方法で広報していると認識している。
瀬川 光之	県においては、これまで全世帯広報誌や新聞広告などにおいて、石木ダムの必要性等を説明してきたと認識している。引き続き、事業に対する県民からの理解促進に向け、取り組みをお進めてほしい。
近藤 智昭	県においては、これまで全世帯広報誌や新聞広告などにおいて、石木ダムの必要性等を説明してきたと認識している。引き続き、事業に対する県民からの理解促進に向け、取り組みをお進めてほしい。
鵜瀬 和博	県においては、これまで全世帯広報誌や新聞広告などにおいて、石木ダムの必要性等について説明してきたと認識しています。引き続き、事業に対する県民からの理解促進に向け、引き続き取り組みをお進めてほしい。
前田 哲也	説明が不十分ということであれば、手法も含めて県が県民の理解を得るよう努力しなければならない。特に県南地区は「他人事」として関心が薄いのは事実。
本多 泰邦	石木ダムの歴史は長い。県民全体より活用している川棚、佐世保市の市民の声を聴くべきでは。

# 2023年県議会議員選挙立候補予定者「石木ダムアンケート」

石木川の清流とホテルを守る市民の会ほか6市民団体

## Q. 川原地区の住民を実力で排除する

### 行政代執行、どう思う？①（コメントありの方のみ）

堤典子	人権問題であり、行政代執行はすべきではない。県政に汚点を残す。
石川悟	行政代執行は絶対に許してはならない。憲法13条をはじめとして県は憲法を遵守する義務を負っていると思う。意見が分かれている時は、最後まで真摯に話し合うことが必要だと思う。
深堀浩	行政代執行とならない解決を求めています。
初手安幸	(無回答)
坂本浩	行政代執行という強権発動は断じて容認できません
本田みえ	必要ないダムを造るために、住民の平穏な生活が強引に奪われることは、民主主義社会において最低な行いで絶対に許せません
堀江ひとみ	これまでの経過からして、なし崩しの建設推進は許されません。まずは工事を停止して、住民と誠実に話し合うべきです。現に居住して生活している住民を排除する行政代執行は、わが国では前例のない事態であり、絶対に避けなければなりません。
大倉聡	行政代執行はたとえ最終手段だとしても、県民の理解は得られないと思います。ただ石木ダム問題に関して現知事は前知事とは違う向き合い方をしているのは事実で、一定評価できる部分もあります。人として県はこの問題を解決するためのさらなる努力と、反対住民の方々へ真摯に向き合う姿勢が今こそ問われていると思います。

# 2023年県議会議員選挙立候補予定者「石木ダムアンケート」

石木川の清流とホタルを守る市民の会ほか6市民団体

## Q. 川原地区の住民を実力で排除する

### 行政代執行、どう思う？②（コメントありの方のみ）

千住 良治	最終手段としてはその選択もやむを得ないのではないかと考える。
瀬川 光之	<p>近年、全国各地で自然災害が頻発するなか、川棚川の洪水被害を軽減し、佐世保市の安定水源を確保するためには、石木ダムは必要不可欠であり、早期に完成させる必要がある。</p> <p>知事におかれては、反対住民のご理解とご協力をいただき、円滑に事業を進めることが最善であると考えていることに変わりはないとのことであるが、行政代執行については、最後の手段として選択肢から外せないと認識している。</p>
近藤 智昭	<p>近年、全国各地で自然災害が頻発するなか、川棚川の洪水被害を軽減し、佐世保市の安定水源を確保するためには、石木ダムは必要不可欠であり、早期に完成させる必要がある。</p> <p>知事におかれては、反対住民のご理解とご協力をいただき、円滑に事業を進めることが最善であると考えていることに変わりはないとのことであるが、行政代執行については、最後の手段として選択肢から外せないと認識している。</p>
鵜瀬 和博	<p>全国各地で自然災害が頻発するなか、川棚川の洪水被害を軽減し、佐世保市の安定水源を確保するためには、石木ダムは必要不可欠であり、早期に完成させる必要がある。</p> <p>知事におかれては、反対住民のご理解とご協力をいただき、円滑に事業を進めることが最善であると考えていることに変わりはないという事ではありますが、行政代執行については、最後の手段として選択肢から外せないと認識している。</p>
前田 哲也	話し合いの努力は継続しなければならないが、行政代執行については、県の計画上苦渋の思いで理解を示し、移転した方々のことを考えた時、代執行については最後の手段として選択肢にはある
古川 洋介	行政代執行とならない解決を求める。
本多 泰邦	法廷での決着がついており、明け渡しにご協力願いたい。
野口 将司	行政代執行は阻止すべき。

# 2023年県議会議員選挙立候補予定者「石木ダムアンケート」

石木川の清流とホタルを守る市民の会ほか6市民団体

## Q. ダム計画の何らかの見直しが必要、不要？

(○はコメントあり/別紙参照)

堤 典子	<b>必要</b>	千住 良治	<b>不要</b>
石川 悟	○ <b>必要</b>	瀬川 光之	○ <b>不要</b>
深堀 浩	○	近藤 智昭	○ <b>不要</b>
初出 安幸	<b>不要</b>	鵜瀬 和博	○ <b>不要</b>
坂本 浩	○ <b>必要</b>	前田 哲也	○ <b>不要</b>
本田 みえ	○ <b>必要</b>	古川 洋介	○
堀江ひとみ	○ <b>必要</b>	本多 泰邦	○ <b>不要</b>
大倉 聡	○ <b>不要</b> (難しい)	野口 将司	<b>必要</b>

# 2023年県議会議員選挙立候補予定者「石木ダムアンケート」

石木川の清流とホテルを守る市民の会ほか6市民団体

## Q. ダム計画の何らかの見直しが必要、不要？

(コメントありの方のみ)

石川 悟	県は今ここで立ち止まって、石木ダム建設を見直す勇気が必要だと思う。過去にとらわれなくて、ダムの必要性についての科学的検証、財政面からの検証等々、県に冷静な対応を求めたい。
深堀 浩	住民の皆さん、そして、すでに移転されている元住民の皆さんの気持ちを踏まえた解決策を模索しなければならないと考えています。
坂本 浩	川棚川河口付近の内水氾濫対策など、可能な限りの洪水対策を行い、ダム建設工事をいったん中止して、住民との協議のうえ事業を見直すべきと考えます。
本田 みえ	水害洪水予防は、川床さらえと嵩上げ工事で十分と聞いている。これ以上自然を破壊するような対策は必要ない。100年に一度しかおきないような洪水なら、ダムより避難先確保ではないでしょうか。
堀江ひとみ	石木ダム計画は、必要性、建設根拠が大きく揺らいでおり、建設後も莫大な経費を要する石木ダム計画をむりやり推進する道理はありません。工事を中止していったん立ち止まり、計画そのものを見直す必要があると思います。
大倉 聡	「公共事業は一旦始めるとなかなか止まらない」という典型的な姿だと思います。計画の見直しは現実的には難しいと考えます。やはり対話を重ねながら、少しずつでも解決の糸口を見つけていくしかないのではないのでしょうか。
瀬川 光之	近年、全国各地で自然災害が頻発するなか、川棚川の洪水被害を軽減し、佐世保市の安定水源を確保するためには、石木ダムは必要不可欠であり、早期に完成させる必要がある。
近藤 智昭	近年、全国各地で自然災害が頻発するなか、川棚川の洪水被害を軽減し、佐世保市の安定水源を確保するためには、石木ダムは必要不可欠であり、早期に完成させる必要がある。
鵜瀬 和博	全国各地で自然災害が頻発する近年、川棚川の洪水被害を軽減し、佐世保市の安定水源を確保するためには、石木ダムは必要不可欠であり、早期に完成させる必要があります。
前田 哲也	自然災害から生命を守り、佐世保市の安定水源確保のためには、石木ダムは必要不可欠であり、早期完成が望まれる。
古川 洋介	住民の皆さん、移転された元住民の皆さんの気持ちを踏まえた解決策を考える必要があると考えます。
本多 泰邦	一度決定して立ち止まる必要で、熊本県の例も有ります。慢性的な水不足と洪水の危険性が迫っています。



# 2023年県議会議員選挙立候補予定者「石木ダムアンケート」

石木川の清流とホテルを守る市民の会ほか6市民団体

## Q. その他、自由記述

(コメントありの方のみ)

堤典子	私は石木ダム建設事業には反対の立場ですが、このアンケートの設問には少し疑問があります。批判的な論調に傾き、推進派の意見が出しにくい方向に誘導している気がしますが。アンケートの目的は？
石川悟	川棚町の町民憲章は次のように書いている。わたくしたちの町川棚は、気高い虚空蔵岳の姿と豊かな川棚川の流れるにはぐくまれ先人たちの努力によって発展してきました。わたくしたちは、このふるさとを愛し、さらによりよい町づくりのために町制施行50周年を記念してここに町民憲章を定めます。(昭和59年11月3日 制定) 石木ダムを止めて、古里と自然を守ろう。
初手安幸	前議員として承知しており、推進との考えである。
本田みえ	公共工事は何のためにするのか。見た目はいいが、その経費は全て税金。国民が納めた血税をあたかも自分のポケットマネーかのように、右から左に動かし、住民が異議を唱えると冷や飯を食わせられるような世の中はもう止めるべきです。
堀江ひとみ	「先にダムありき」で50年前の計画に固執し、愛する故郷に住み続けたいという住民の思いを平気で踏み潰すような県政は許せません。私は、県議会議員として、何が最善の策なのか、本当に必要な事業なのか、県民のいのちとくらしを第一に考える県政になるよう努力したいと思います。
大倉聡	川原地区の自然、あの環境は本当に素晴らしく、大切にしていってほしいものだと思います。みなさまにとって、その愛すべきふるさとで親子の世代を通して、このような諍いが続いていること、本当に心苦しく思います。公共事業はそもそも人の暮らしに役立つものでなければなりません。それなのに逆に人を分断しているという石木ダム事業。なんとか解決に向けて私自身も取り組んで行けたらと思います。
本多泰邦	長崎県の長年の課題である石木ダム問題ですが、佐世保市や近辺の住民の皆様が生活用水に困っています。水は生活用水や企業誘致にも影響しています。一刻も早くダムの建設が進むことを望みます。